

議題 1 令和 3 年度琵琶湖博物館の活動について（報告）

1. 新型コロナウイルス感染症の経過並びに来館状況

（1）感染症の経過

感染拡大の第 4 波（4～6 月）、5 波（8～9 月）、6 波（1 月～）の下での活動となった。
4 月 29 日～5 月 11 日、および 8 月 27 日～9 月 30 日には湖岸緑地公園の閉鎖にあわせて
臨時に休館したが、第 6 波（1 月～）では人数制限を強化しながら開館を継続している。

また、県全体の感染症対策応援に職員を派遣している。派遣期間はおおむね 2 週間。
特に 1 月以降の第 6 波では感染の爆発的増加により、複数の職員を同時に派遣している。

館内の感染症対策の基軸

- ・マスク着用・手洗い／消毒励行、検温
- ・感染を防ぐ距離の確保 → 事前予約による館内の人数調整
- ・県のステージに応じたイベント開催の調整

湖岸緑地の閉鎖と連動した臨時休館 4/29～5/11、8/27～9/30

オミクロン株による感染急拡大に対する措置（2022/1/12～）

人数制限強化 180 人／30 分 → 120 人／30 分

屋内行事（特定少数除く）の休止、ふれあい体験室等展示の一部閉鎖

（2）来館状況

①全体

2 月末時点で 255,111 が来館した（表 1）

参考：R2 年度 227,220 人 H30 年度（展示室閉鎖最小）462,162 人

表 1 来館者内訳（令和 3 年 2 月末現在）

種別	人数	種別	人数	種別	人数
個人未就学	46830	団体未就学	277	学校行事（無料）	9234
個人小中	32004	団体小中	30251	県内65歳以上	5899
個人高大	6901	団体高大	2568	障害者	5571
個人一般	86682	団体一般	5834	無料の日	16909
その他利用者	6151	合計		255111	

②学校団体（表 2）

令和 3 年度は 4～6 月と 9 月に多くの学校で校外学習・修学旅行が延期となり、その
分が 10 月以降に集中したほか、例年は閑散期に入る 12 月まで来館が継続した。

令和 3 年度 学校団体来館状況 (4 月～2 月末、比較も同期)

		学校団体数			児童生徒・学生数		
		H30年度	R2年度	今年度	H30年度	R2年度	今年度
県内	小学校	144	183	176	11463	12454	11722
	中学校	15	13	20	1556	981	1923
	高等学校	13	5	9	946	651	846
	特別支援学校	20	11	19	327	276	240
	大学など	9	10	7	743	674	271
	合計	201	222	231	15035	15036	15002
県外	小学校	196	85	154	15250	6392	12171
	中学校	58	30	49	7615	3097	5671
	高等学校	30	8	18	2747	715	1742
	特別支援学校	14	4	12	559	68	292
	大学など	43	8	11	1922	268	320
	合計	341	135	244	28093	10540	20196
総計		542	357	475	43128	25576	35198

③人数制限と来館者数の関係 (図 1)

土日は 8 月後半 (第 5 波)、12 月後半を除き、ほぼ上限いっぱいまで来館している。夏休みを除く平日は主として学校団体の来館の動向を反映している。このため春季 (5 月～7 月) は少なく秋季 (10 月～12 月前半) に多い。

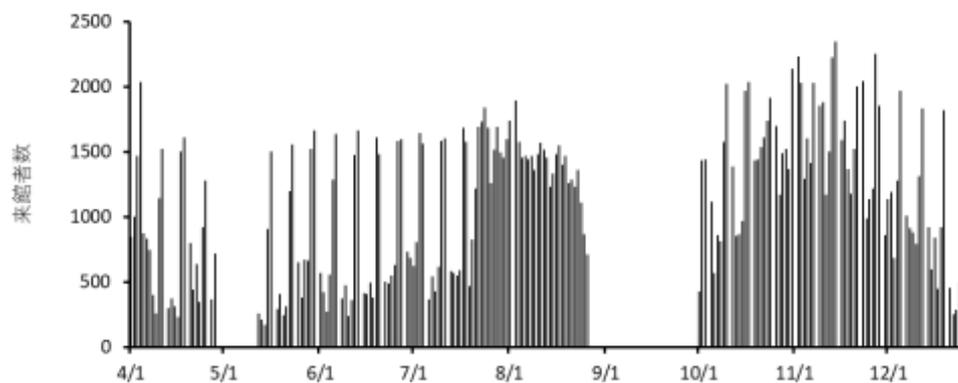


図 1 毎日の来館者数

2. 主な行事等（時系列順・前回資料に追記）

4月

琵琶湖博物館 第三次中長期基本計画 策定

令和2年度「ごはん・お米とわたし」図画の部入賞作品展（3月23日－4月11日）

ギャラリー展「知っていますか？日本農業遺産『琵琶湖システム』」

（4月11日－6月6日）

第1回研究セミナー（16日）

里山体験教室（25日）

5月

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言

湖岸緑地閉鎖に伴う臨時休館（4月29日～5月11日）

第2回研究セミナー（21日）

生活実験工房オンライン観察会（22日）

はしかけオンライン登録講座（23日）

アトリウム展示「山里の自然と暮らしの文化を活かした地域（むら）づくり」

（5月29日－7月11日）

6月

豊かな生物をはぐくむ水田講座（初級）（6日）

タイ総領事視察（11日）

ちっちゃな子どもの自然遊び（16日）

第3回研究セミナー（18日）

須原魚のゆりかご水田オンライン観察会（19日）

ふらっと自然観察会・新旭（23日）

7月

里山体験教室（11日）

洞庭湖博物館と連携に関するオンライン会議（14日）

第4回研究セミナー（16日）

第29回企画展示「湖国の食事（くいじ）」（7月17日～11月21日）

田んぼ体験教室・昆虫採集（25日）

企画展関連シンポジウム「未来を醸す～湖国の食事文化～」（31日）

アトリウム展示「湖国の食事をめぐる旅」（企画展関連展示）（7月31日－8月26日）

8月

企画展関連イベント「湖国の食をめぐる大冒険」（1日）

第5回研究セミナー（20日）

博物館実習（8月23日－8月27日）*完全オンライン

緊急事態宣言発令のため休館（8月27日～9月30日）

9月

- 緊急事態宣言により休館（30日まで）
- 150年ぶりに再記載されたビワコツボカムリの標本受け入れ（3日）
- 洞庭湖博物館と連携に関するオンライン会議・第2回（16日）
- 第6回研究セミナー（20日）
- はしかけオンライン登録講座（9月36日－10月3日）

10月

- 無料ガイドアプリ「ポケット学芸員」運用開始（1日）
 - 琵琶湖-水月湖 湖ラボ展「季節かつくりだす地層の縞模様-年縞」(10月1日－11月4日)
 - 子供ロケット教室（9日）
 - 海南市教育委員会視察（14日）
 - 第7回研究セミナー（15日）
 - 琵琶湖博物館 25周年記念シンポジウム「琵琶湖博物館との新しいつきあい方」（23日）
- *完全オンライン

11月

- 琵琶湖博物館を回ってMLGsを見つけよう！～MLGsってなあに？～（6日）
- 滋賀の食事文化研究会設立30周年記念講演会（7日）
- 琵琶湖博物館協議会（10日）
- はしかけ：植物の化石を掘り出そう！（13日）
- 「びわこのちから」発見！フォトコンテスト入選作品巡回展 県立図書館(3日－14日)
- はしかけ：ちっちゃな子どもの自然遊び・11月(17日)
- 第8回 研究セミナー(19日)
- ラムサールびわっこ大使学習会（20日）
- 田んぼ体験教室 秋の生き物を探そう(21日)
- ディスカバリールーム 森の宝物をさがそう！（23日）
- 「びわこのちから」発見！フォトコンテスト入選作品巡回展
大津市北部地域文化センター(11月26日－12月2日)
- 子供ロケット教室（27日）

12月

- はしかけ：季節の植物でアロマウォーターを作ろう！（1日）
- トヨタソーシャルフェス（5日）オンライン
- 「びわこのちから」発見！フォトコンテスト入選作品巡回展彦根ビバシティ(6日－11日)
- 館収蔵東寺文書のオンライン公開開始（8日）
- はしかけ：綿にふれてみよう！（11日）
- はしかけ：ちっちゃな子どもの自然遊び・12月(15日)
- 在阪・在神戸インド総領事 視察（16日）

第 9 回 研究セミナー (17 日)

JICA 研修 (17 日)

田んぼ体験教室 しめ縄づくり (19 日)

第 12 回琵琶湖地域の水田生物研究会 (19 日)

鳥取県立博物館視察 (22 日)

サンタクロース (24・25 日)

1 月

ギャラリー展示 琵琶湖の虹が映 (ば) える理由 (わけ) - 湖の「なぜ」がわかる
物理学 - (1 月 4 日 - 3 月 6 日)

ディスカバリールーム おたからさがしくじ (4 日 - 7 日)

滋賀県琵琶湖環境部初任者研修 (6 日)

新型コロナ (オミクロン株) 感染急拡大 人数制限強化 180 人 → 120 人 (12 日 ~)

はしかけ: ちっちゃな子どもの自然遊び・1 月 (12 日)

地球・生命の星博物館視察 (20 日)

第 10 回 研究セミナー (21 日)

新琵琶湖学セミナー第 1 回 (22 日) * 完全オンライン

JICA 研修 (26 日) オンライン

ラムサールびわっこ大使学習会 (29 日) * 一部オンライン

2 月

キャッシュレス決済・ウェブチケット販売開始 (1 日 ~)

ギャラリー展示 トンボ 100 大作戦 - 滋賀のトンボを救え! - (1 日 - 27 日)

大津市観光ボランティア研修 (2 日)

第 11 回 研究セミナー (18 日)

琵琶湖のヨシっていいね (ヨシ展示) 近鉄百貨店 (2 月 23 日 - 3 月 10 日)

琵琶湖博物館公式 YouTube チャンネルをリニューアル (25 日)

新琵琶湖学セミナー第 2 回 (26 日) * 完全オンライン

3 月

琵琶湖博物館展示総合案内完成 (1 日)

琵琶湖博物館展示総合案内寄贈 (日本生命財団) に対する知事感謝状贈呈式 (8 日)

はしかけ登録講座 (オンライン) (6 日 - 20 日)

「びわこのちから」発見! フォトコンテスト入選作品展 館内 (5 日 - 18 日)

第 12 回 研究セミナー (18 日)

新琵琶湖学セミナー第 3 回 (26 日) * 完全オンライン

3. 各活動の詳細

3-1. 研究活動

(1) 成果の発信

令和3年度(2021年度)研究成果発信累計

原著論文 21、専門分野著述 14、一般向け著述 37、学会・研究会発表 41、その他 1
新聞連載 6紙

中日新聞「湖岸より」／京都新聞「びわ博からフィールドへ」

朝日新聞「ビワハツ琵琶湖博物館研究だより」／毎日新聞「びわ博こだわり展示の裏話」

産経新聞「日曜日に知る 琵琶湖の魚たち」

琵琶湖博物館ブックレット

13 琵琶湖と古墳～東アジアと日本列島からみる～

用田 政晴(神戸学院大学教授・滋賀県立琵琶湖博物館名誉学芸員)

14 琵琶湖と俳諧民俗誌 - 芭蕉と蕪村にみる食と農の世界 -

篠原 徹(滋賀県立琵琶湖博物館名誉館長)

15 びわ湖の森のイモムシ、ケムシたち

寺本憲之(琵琶湖博物館特別研究員)

研究セミナー 毎月第3金曜日 12回、36件

研究会・公開セミナー等

・ 第12回琵琶湖地域の水田生物研究会 12月9日

場所：滋賀県立琵琶湖博物館ホール(定員90名)及びオンラインによる中継

主催：滋賀県立琵琶湖博物館

共催：近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会

・ 新琵琶湖学セミナー全3回 (オンライン開催)

第1回「どうなる？琵琶湖の『深呼吸』(1月22日)

「そもそも『深呼吸』とは何か～物理)的なメカニズム」

戸田孝

「『深呼吸』が不完全だと何が起るか～野外観測の結果から」

石川俊之氏(滋賀大学)

第2回「琵琶湖の水草は増えすぎなのか？」(2月26日)

「琵琶湖における水草の繁茂と現状」

芳賀裕樹

「水草からみた琵琶湖の長期変遷～シミュレーションモデルを用いた解析から」

佐藤祐一氏(琵琶湖環境科学研究センター)

第3回「解決できるか？外来種問題」(3月26日)

「なぜ外来生物は管理が必要なのか？～地球環境問題の視座から考える」

五箇公一氏(国立環境研究所)

「琵琶湖の外来種問題を振り返って：人が引き起こした自然の攪乱、社会の混乱」

中井克樹

- (2) 研究専念日・専念時間の確保について
毎週水曜日全日、毎週火曜日・木曜日の午前中を一律に研究専念の時間として割り当て
6月1日より試行開始、継続中
2月末に館内で効果・影響調査（アンケート）を行い、集計中
- (3) 研究環境の整備
- ①大型備品更新計画の策定
向こう5年間の大型研究備品更新計画を策定し、令和4年度には故障した電子顕微鏡の更新予算を確保した。
- ②生態進化実験室の空調増築
以前から、湿度上昇により顕微鏡や精密機器にカビやサビが生じ、故障も生じていた実験室に、室独自の空調の増築を実現した。（工事は3月中下旬）。

3-2. 資料収集・活用

- (1) 映像（写真）資料 大橋コレクション公開 8月24日
琵琶湖博物館ウェブサイト>リサーチアーカイブス>ウェブ図鑑 1170件
公開後、3月1日現在で2480件に増加
*第三次中長期基本計画の重点事業2-2 関連
- (2) ガイドシステム ポケット学芸員の試験運用を開始
解説内容は現行の音声ガイドと同じ（音声無し）
*第三次中長期基本計画の重点事業2-3 関連
- (3) 館収蔵東寺文書の公開
2009年に重要文化財に指定された琵琶湖博物館所蔵の「東寺文書」（107点）の目録、画像、翻刻のデータが12月8日より東京大学史料編纂所のウェブサイトで公開された。
*第三次中長期基本計画の重点事業2-3 関連
<琵琶湖博物館所蔵の東寺文書とは？>
もともとは東寺（京都市南区）に伝えられた古文書で、当時の古文書の姿をそのまま伝え、日本の平安時代から室町時代にかけての歴史を知る上で大変貴重。江戸時代以来、滋賀県の個人蔵となっていたが、1996年に琵琶湖博物館が入手し、整備を進めてきた。

3-3. 環境学習センター

- (1) ウェブサイト エコロシ〜がの全面刷新
- (2) SNS 新設（Facebook、Twitter、インスタグラム）
- (3) 「びわこのちから」発見！フォトコンテスト作品募集 応募期間：7/7~8/31

入賞作品巡回展

滋賀県立図書館 11月3日-11月14日

北部地域文化センター 11月26日-12月2日

ビバシティー彦根 12月6日-12月11日

(4) びわ湖の「ヨシ」って いいね！展 2月23日-3月10日

草津近鉄百貨店 あかりスポット

ヨシ実物展示、ヨシ製品、よし笛演奏、ヨシネックレス ワークショップ等

3-4. 交流活動

(1) 新型コロナ感染症対策

ステージによるイベントの開催判断 屋外：ステージ III 以下、屋内：ステージ II 以下
オンラインの積極的導入 はしかけ登録講座、オンライン観察会

(2) 琵琶湖博物館開館 25 周年シンポジウム「琵琶湖博物館との新しいつきあい方」

開催日 10月23日(土) 事前申し込み。完全オンラインで実施。詳細別紙

参加者数： 144人

【概要】

第三次中長期基本計画のテーマである「集い、学びあい、琵琶湖を世界に発信する博物館」となるための人々の利用の形について、当館、他館の事例を参考に討議を行った。

*第三次中長期基本計画の全体コンセプトおよび重点事業1、3に対応

(3) 共催行事

琵琶湖博物館を回って MLGs を見つけよう！ ～MLGs ってなあに？～

開催日：11月6日 主催：滋賀県琵琶湖保全再生課・琵琶湖博物館

「MLGs (マザーレイクゴールズ)」は「琵琶湖版 SDGs」で「びわ湖の日」40周年となる2021年7月1日に策定されました。MLGs について学ぶとともに、琵琶湖博物館の展示から MLGs のヒントを探すワークショップを開催しました。

*事業目標3 重点事業3-1. 3-2に対応

3-5. 展示活動

(1) 企画展示室

ギャラリー展示「知っていますか？日本農業遺産『琵琶湖システム』」

開催期間：4月17日-6月6日

主催：滋賀県農業政策課、共催：琵琶湖博物館

第29回企画展示 「湖国の食事（くいじ）」

開催期間：7月17日-11月21日

主催：琵琶湖博物館・滋賀の食事文化研究会

趣旨：琵琶湖をぐるりと山々が囲んだ湖国・滋賀県には、土地でとれる旬の食材を、おいしく頂いたり長く保存したりする様々な知恵や技が息づいています。滋賀の食事文化の豊かさに触れ、今と-これからの食事を考える企画展示です。

関連イベント：

シンポジウム「未来を醸す～湖国の食事文化～」7月31日

「湖国の食事をめぐる旅」(アトリウム) 7月31日-8月26日

滋賀県の郷土料理・伝統食に関する食文化を保存・継承する活動を積極的に行っているグループを紹介

ギャラリー展示

「琵琶湖の虹が映(ば)える理由(わけ) -湖の「なぜ」がわかる物理学-

開催期間：1月4日-3月6日

主催：滋賀県農業政策課、共催：琵琶湖博物館

趣旨：琵琶湖にはさまざまな水の動きがあり、湖上の空にもさまざまな現象があります。

「なぜ、どのように」起こり、「何に、どのように」影響するのかを考えます。

原理的なことに関する科学館的な解説も交えつつ、それに留まることなく、琵琶湖地域で実際に起こっている現象との関わりを深く考察していきます。

ギャラリー展示 「森へ行こう・森と生きよう」(全国植樹祭記念展示)

開催期間：3月20日-6月5日

主催：滋賀県環境部植樹祭推進室・琵琶湖博物館

趣旨：滋賀県の面積の約半分は森です。この森は日本一大きな琵琶湖を支えています。

本展示では「森ってすごい」「森へ行く楽しみ」「木ってすごい」をテーマに森の魅力を紹介します。

(2) 常設展示

A展示室 地域の人びとによる展示

「元彦根藩士 杉村次郎 金石の旅 - 近代鉱業家・鉱物 研究家の魁 -」

4月3日-10月1日

明治時代の滋賀県で開発された鉱山にゆかりのある鉱山技師であった杉村次郎に着目して、杉村次郎に関わった鉱山・鉱石と関連の深いものについて、今回の展示を行う福井龍幸さんが調査および採集されてきた鉱物・鉱石の標本を展示します。

「宇治田原の植物化石」10月2日 - 3月28日

宇治田原町に分布する綴喜層群(約1700万年前頃、中新世)から馬越さんが採集した植物化石を展示します

福井県立年縞博物館との連携

3月5日-4月19日 琵琶湖博物館の移動博物館を年縞博物館で展示

10月1日-11月14日 琵琶湖博物館で「琵琶湖-水月湖 湖ラホ展」開催

B 展示室 学芸員のこだわり展示（館蔵品紹介コーナー）

第4回：名所図会にみる「湖のながめ」 3月16日－5月16日（前後半入れ替え）

『近江名所図会』を主に取り上げ、琵琶湖を望む風景の挿し絵とその特徴を紹介します。

前半（3月16日-4月18日）

- ・『近江名所図会』巻二「近松寺山頂安然塔并ニ湖上望遠の美景」（当館蔵）
- ・『近江名所図会』巻三「其二 湖水眺望」「其三 西近江御旧蹟」（当館蔵）
- ・『近江名所図会』巻四「石馬寺 地獄越」（当館蔵）

後半（4月20日－5月16日）

- ・『伊勢参宮名所図会』附録一「近松寺山頂安然塔并ニ湖上望遠の美景」
- ・『近江名所図会』巻三「其二 湖水眺望」「其三 西近江御旧蹟」
- ・『木曾路名所図会』巻一「磨針峠」

第5回「風景を持ち帰る－明治の写真帖－」5月18日－7月11日

明治時代につくられた写真帖と、そこに収められた近江の風景写真を紹介します。

- ・明治期手彩色写真帖（明治時代、当館蔵）

第6回「瀬田川ざらえの願い」7月13日～8月26日

琵琶湖周辺の村々を描いた絵図から江戸時代の瀬田川ざらえ普請を読み解きます。

- ・『伊勢参宮名所図会』附録一「近松寺山頂安然塔并ニ湖上望遠の美景」（当館蔵）
- ・『近江名所図会』巻三「其二 湖水眺望」「其三 西近江御旧蹟」（当館蔵）
- ・『木曾路名所図会』巻一「磨針峠」（当館蔵）

第7回「滋賀のなかの三方五湖」10月1日－11月28日（前回報告済みのため概要略）

福井県の一部（嶺南地方）が滋賀県だった時代（明治9－12年）の滋賀県の教科書や地図での三方五湖の表現のされ方を紹介します。

- ・滋賀県管内地理書（当館蔵）
- ・滋賀県管内地理図（当館蔵）

第8回「重要文化財・琵琶湖博物館所蔵 東寺文書(とうじもんじょ)画像等公開記念

室町時代のお手紙の作法一封をする－」11月30日－1月16日

室町時代の手紙は、本紙と礼紙という二枚の紙を使い、それぞれに封をする方法がありました。今回の展示では、重要文化財の館蔵・東寺文書を用いて「切封」という作法を紹介します。

- ・『文明17年4月4日、俊忠拳状、東寺文書』52(46)』（当館蔵）
- ・『年未詳閏6月21日、横川宗興書状、「東寺文書」92(81)』（当館蔵）



関連イベント「昔のやり方でお手紙に"封"をしよう」(12/8)

第9回「貫井の木地枕」1月22日ー 3月13日

滋賀県大津市葛川貫井（ぬくい）の木地屋が作った木地枕（県指定有形民俗文化財）などを展示します。

- ・木地枕（県指定有形民俗文化財）（当館蔵）
- ・木地鉋（県指定有形民俗文化財）（当館蔵）

C 展示室

TNB48 第二期メンバー 募集（締め切り 2月28日）

「会いに行ける田んぼ研究」のコンセプトのもと、田んぼ研究の成果を常設して来館者と田んぼ研究者との距離を縮め、田んぼ研究をより身近な存在にする展示の取り組み。今回は2022年度に入れ替えを行うため、新たな研究成果を公募。



水族展示室

水族トピック展示「約 30 年ぶりの発見!! コガタノゲンゴロウ」 10 月 19 日－11 月 28 日

長浜市在住の小学生、天守証さん（8 歳）が県内では約 30 年ぶりの記録となるコガタノゲンゴロウを発見し、当館への問い合わせで確認されました。

展示：発見されたコガタノゲンゴロウの標本、生体（他県で採取されたもの）

その他水生昆虫の紹介

琵琶湖博物館にサンタクロースがやってくる！ 12 月 24 日・25 日

趣旨：水族飼育員の日ごろの業務をクローズアップして紹介するもので、その業務の一つである「水槽の掃除」を 12 月にちなんでサンタスタイルで登場しました。

ディスカバリールーム

「森の宝物をさがそう！」 11 月 23 日

屋外展示の森に宝物を探しに行き、見つけた宝物にタイトルをつけて展示しました。

「おたからさがしくじ」 1 月 4 日－1 月 7 日

ディスカバリールームの出口付近にある「おたからさがしくじ」を引いて、お告げのラッキースポット（展示）を探してもらうものです

アトリウム等

令和 2 年度「ごはん・お米とわたし」図画の部入賞作品展示 3 月 23 日～4 月 11 日

主催：JA 滋賀中央会

「山里の自然と暮らしの文化を活かした地域（むら）づくり」5 月 29 日－7 月 11 日

主催：結いの里・棕川

「湖国の食事をめぐる旅」7 月 31 日－8 月 26 日

主催：琵琶湖博物館・滋賀の食事文化研究会

ギャラリー展示「トンボ 100 大作戦ー滋賀のトンボを救え！ー」 2 月 1 日－2 月 27 日

主催：生物多様性びわ湖ネットワーク 共催：滋賀県立琵琶湖博物館

滋賀県内の 7 つの企業からなる「生物多様性びわ湖ネットワーク(BBN)」がトンボをテーマに環境保全を展開しています。ギャラリー展示では、工場敷地内外での生息調査や保全活動を紹介します。

展示内容

- ・第 3 回 Instagram びわ湖とんぼフォトコンテスト入選作品の展示
- ・BBN 活動と「企業の推しトンボ」パネルの展示
- ・県内 100 種の希少度別のトンボ写真展示
- ・滋賀県のトンボの標本展示

「びわこのちから」発見！フォトコンテスト入選作品展 (3 月 5 日－3 月 18 日)

3-6. 総務課・企画調整

(1) チケットレス・キャッシュレスの実施（総務課）

2月1日より、発見窓口でのカード等による支払と、ネット上での観覧券の販売を開始しました *中長期計画5-3の前倒し

キャッシュレス決済

- ・クレジットカード VISA、MasterCard、JACCS
- ・電子マネー Kitaca、Suica、PASMO、TOICA、manaca、ICOCA、SUGOCA、nimoca、はやかけん、楽天 Edy、WAON、nanaco。auPAY、d払い、PayPay、WeChat Pay、ALIPAY、メルペイ

チケットレス（インターネットチケット購入）

- | | |
|------------|---------------------------|
| (1) 利用サービス | アソビュー |
| (2) 対象 | 個人でご利用の常設展示および企画展示の観覧券 |
| (3) 有効期限 | 購入日から6ヶ月間 |
| (4) 支払方法 | クレジットカード、あと払い（ペイディ）PayPay |

(2) 総合案内の刊行（企画調整課）

日本生命財団の出版助成を受け、令和2年から作成を開始した琵琶湖博物館展示総合案内が3月1日に完成しました。

博物館が活用する3000冊と学校・図書館に配布する460冊を合わせた3460冊が3月8日に日本生命財団より当館に寄贈され、滋賀県知事より感謝状の贈呈が行われました。この冊子はミュージアムショップで800円で一般向けに販売します。

(3) 視察等・研修・共催行事等（企画調整課）

視察 在大阪・在神戸インド総領事（12月16日）

鳥取県立博物館（12月22日）

地球・生命の星博物館（1月20日）

宮内庁三の丸尚蔵館（3月17日）

研修等 ラムサールびわっこ大使学習会（11月20日）

ラムサールびわっこ大使 世代間交流会（1月29日）

JICA 研修（12月17日：来館・講義見学、1月26日：オンライン）

ライオンズクラブ近畿北ブロック学習会（11月27日）

大津市観光ボランティア研修（2月2日）

守山市環境市民会議研修（2月8日）

共催イベント

KMP 子供ロケット教室（11月27日）

トヨタソーシャルフェス（12月5日）オンライン・ライブ中継

3-7. 広報営業活動

(1) 広報活動

資料提供	31 件	(詳細別紙)
テレビ・ラジオ放送	51 件	(詳細別紙)
新聞掲載	204 件	(詳細別紙)
その他		

県国際課への協力：ブラジル RS 州とのオンライン交流（ツアー）2/25
認知度 WEB アンケート調査（全国） 3月上旬

(2) 営業活動

企業訪問等

企業連携 博物館からの研修行事支援 2 件（予定）

協賛企業更新

[寄附協賛実績] R3 年度 90 件 1703 万円 (3/8 現在) ※ R2 : 16 件 398 万円

学校訪問等

学校訪問 R3 : 169 校 (1 月末現在) ※ R2 : 35 校、R1 : 67 校

教育旅行関連

びわこビジターズビューロー教育旅行部会主催現地研修会 (2 月 28 日)

比叡山セミナー (県内観光関係者向け) (3 月 2 日)

琵琶湖・烏丸半島魅力向上活性化事業

交通機関連携：

もりやま定額観光タクシー事業 (守山タクシー、11 月 15 日-2 月 28 日) 130 件